



No. 47 [平成27年 3月30日]
岡山県総合教育センター
〒716-1241
加賀郡吉備中央町吉川7545-11
TEL(代) (0866)56-9101
(特別支援教育部) (0866)56-9106
(特別支援教育部相談専用電話)
TEL (0866)56-9117
<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp>

初めて特別支援学級を担任する方のために

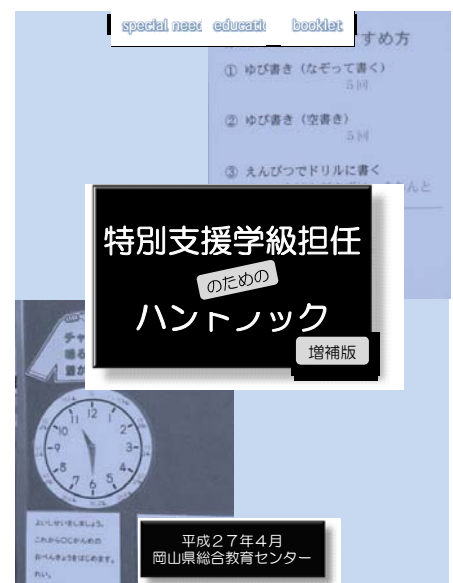
新年度に向けて、各学校では新しい指導体制が検討されている時期と思います。その中で、小・中学校では、4月から初めて特別支援学級の担任になる方もいることと思います。その方たちの多くは、新学期当初に通常の学級との違いに戸惑ったり、不安や悩みをもたれたりするのではないかと思います。そうした戸惑いや不安、悩みに応え、特別支援学級担任としての指導・支援にやりがいを感じながら、障害のある児童生徒一人一人のよりよい成長を促し、支えていただくために、当センターが行っている特別支援学級担任の方のための支援について、本号では紹介します。

「特別支援学級担任のためのハンドブック —増補版—」の作成

このハンドブックは、当センターの平成23年度プロジェクト研究の成果物として平成24年2月に発刊したものを改訂したものです。

元々の「特別支援学級担任のためのハンドブック」を作成することとした背景には、当センターで毎年度実施している特別支援学級を初めて担任する教員を対象とした研修講座を受講した方たちから、「子どもの実態をどう理解し、どのように関わればよいのか」「時間割の組み立て方、学習の進め方はどのようにすればよいのか」「自立活動や生活単元学習はどのように指導すればよいのか」などの悩みや不安をよく聞くということがあります。こうした悩みは、一部の担任だけでなく、多くの担任に共通する悩みであると思いました。しかし、困ったときにすぐに相談できる相手が校内にいない場合もあります。そこで、当センターでは、特別支援学級の担任がもつ疑問や悩みに応えるハンドブックを作成しようと考えた訳です。

こうして作成したハンドブックは、本県の特別支援学級の多くを占める小・中学校の知的障害特別支援学級及び自閉症・情緒障害特別支援学級を対象に、その学級担任として必要と



思われる情報を網羅してまとめるようにしました。

その発刊から3年が経過したことから、今回改めてハンドブックの内容を見直すとともに、今年度当センター特別支援教育部共同研究の成果物として発刊した「自立活動ハンドブックー知的障害のある児童生徒のためにー」の内容を盛り込み、「特別支援学級担任のためのハンドブックー増補版ー」（以下「増補版」という）として改訂することとしました。その大まかな内容は、次の「増補版」の目次に示すとおりです。

目次	
* はじめに	6 障害の状態等に応じた指導
1 特別支援学級担任になって	(1) 各教科等を合わせた指導
(1) 1年間の主な学級事務	(2) 教科別の指導
(2) 4月第1週にしておきたいこと	(3) 領域別の指導
(3) その他の4月当初の学級事務	7 個別の指導計画
2 教室環境	8 個別の教育支援計画
3 教育課程	9 交流及び共同学習
(1) 特別の教育課程の編成	10 保護者との連携
(2) 特別の教育課程の編成の手順	11 各種援助制度
4 自閉症・情緒障害特別支援学級の教育課程の編成	★巻末付録 自立活動<手順編> <実践編>
5 知的障害特別支援学級の教育課程の編成	*おわりに

4月から初めて特別支援学級の担任になる方はもちろん、引き続き担任をされる方にも、「増補版」を是非活用いただき、児童生徒の迎え入れと新学年でのスムーズな学校生活スタートすることを願っています。

特に、初めて特別支援学級の担任になる方には、「増補版」の「1 特別支援学級の担任になって」を読んでいただくと、担任としての大まかな1年間の見通しと、当面4月にすべき具体的な仕事を思い浮かべる手がかりになると思います。また、「2 教室環境」には、イラストで具体的に整備された教室環境を示したり、その際の留意事項等を挙げたりしていますので、年度当初の教室づくりの参考になると思います。そして、「10 保護者との連携」は、児童生徒のより良い成長を図り、適切な教育を行うための基盤となる保護者の方との良好な連携・協力関係を築いていくための参考になると思います。

また、「増補版」でこれまでのハンドブックと大きく変更したところは、自立活動の解説に関わる二箇所です。その一つは、「6 (3) 領域別の指導」の中の自立活動について解説した箇所です。もう一つは、巻末資料として、実態把握から評価までの自立活動における個別の指導計画の作成手順について解説する<手順編>と、その手順に沿って作成した個別計画に基づいた指導実践の事例を載せた<実践編>を追加した箇所です。この変更した箇所を参考に自立活動の正しい理解と適切な指導に役立てていただくことを願っています。

特に、巻末資料の最後の見開きページには「自立活動学習指導案形式例」を掲載しています。自立活動についての研究授業等を行うときなどに参考として学習指導案を作成し、実践

をより深めていただくことを願っています。

なお、「増補版」については、当センターWebページの次の場所からダウンロードできるようにしていますので、傍に置いてご活用ください。

<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/chousa/kiyou/h23/11-08zouho14.pdf>

お勧め研修講座

当センターでは初めて特別支援学級の担任となった方を対象に、来年度も「小学校特別支援学級等新任担当教員研修講座」及び「中学校特別支援学級等新任担当教員研修講座」を次の期日・会場で実施します。どちらの研修講座も悉皆研修ですので、該当する方は必ず受講してください。

期日	会場	研修講座名
6月5日(金)	総合教育センター	小学校特別支援学級等新任担当教員研修講座(第1日)
7月31日(金)	総合教育センター	小学校特別支援学級等新任担当教員研修講座(第2日)
10月23日(金)	新見市立思誠小学校	小学校特別支援学級等新任担当教員研修講座(第3日)
6月5日(金)	総合教育センター	中学校特別支援学級等新任担当教員研修講座(第1日)
7月31日(金)	総合教育センター	中学校特別支援学級等新任担当教員研修講座(第2日)
10月28日(水)	新見市立新見第一中学校	中学校特別支援学級等新任担当教員研修講座(第3日)

どちらの研修講座も第1日は、障害の理解と支援、特別支援学級等の教育課程編成と指導内容等について講義、実践発表、協議により研修します。第2日は、特別支援教育における本人・保護者支援、自立活動の指導等の内容について講義、演習を通じて研修します。また、第3日は、サテライト講座として、小・中学校それぞれ小・中学校を会場に特別支援学級等における授業づくりや学級経営等について、授業参観や演習、協議を通じて研修します。特に、他校の特別支援学級等の授業を参観することは貴重な機会になることと思います。

この3日間の研修を通じて、特別支援学級担任として必要となる基本的な知識・技能を身に付け、より良い授業や学級づくりに生かす力量の向上を図っていただきたいと思います。詳しい研修講座の内容については、当該学校あてに送付する当研修講座の実施要項や各学校に送付する「研修講座案内」の冊子又は当センターのWebページの「研修講座案内」をご覧ください。

また、特別支援学級担任の方のための授業づくり研修講座として、次の表に示す希望研修を実施します。特別支援学級担任を対象とした研修講座ですので、ご希望の研修講座に参加し、他校の特別支援学級担任の方と知り合いになったり、特別支援学級の授業づくりに役立つ情報を収集したりすることもできると思います。

期日	会場	研修講座名
8月11日(火)	総合教育センター	知的障害特別支援学級授業づくり研修講座
7月29日(水)	総合教育センター	自閉症・情緒障害特別支援学級授業づくり研修講座

なお、来年度の「知的障害特別支援学級授業づくり研修講座」では、自立活動の指導に関する内容を取り上げて研修を行います。「自閉症・情緒障害特別支援学級授業づくり研修講座」では、授業づくりと関連して、個への対応に関する内容を取り上げて研修を行います。

積極的に受講してください。

その他、「発達障害」や「特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり」「特別支援学校における生活単元学習」などに関する研修講座（希望研修）もあります。詳しくは、4月下旬頃に当センターWebページに掲載する「研修講座案内」や送付予定の「研修講座案内」の冊子をご覧ください。

カリキュラムサポート，学校コンサルテーション， 教育相談の活用

当センターでは、教員の方の様々な質問にお答えする「カリキュラムサポート」を実施しています。特別支援学級担任となって、教育課程のこと、学習指導のこと、子どもの気になる行動への対応のことなど、分からないことや困ったことなどが出てきたとき、当センターメディアセンター内にあるカリキュラムサポートセンターに連絡をいただくと、相談に応じ、できるだけの支援を行います。電話でも、来所でも相談に応じますのでご連絡ください。

カリキュラムサポートの連絡先（メディアセンター）

電話：（0866）56-9108

電子メール：csc@edu-ctr.pref.okayama.jp

また、当センターでは、学校や学級の気になる子どもに対する校内支援体制の整備に関わる助言や支援をさせていただく「学校コンサルテーション」を要請に応じて実施しています。これまでの指導・対応では困難さを感じる事例や、学校と外部機関との連携の取り方が分からない事例など、お困りの事例についてご相談ください。

困ったときに一人で問題や課題を抱え込んでいても、問題は解決しないばかりか、ますます解決が困難な状況に陥ってしまうこともあります。問題への対応については、一人で抱え込まず、関係者がチームとして解決に当たることが鉄則です。困ったときには、当センターの「学校コンサルテーション」を活用してください。

学校コンサルテーションの申込先

特別支援教育部 （0866）56-9106

その他、次のとおり教育相談も行っていますので、ご利用ください。

○面接相談（予約制，1回50分）

月・水・木・金曜日9:00～19:00，火曜日13:00～19:00

○電話相談（相談専用電話：（0866）56-9117）

月・水・木・金曜日9:00～17:00，火曜日13:00～17:00

○医師による教育相談（予約制）

原則として，毎月第4水曜日16:00～18:00

（特別支援教育部 林 栄昭）